

「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件」の検討開始について

1 検討の背景

「デジタルコードレス電話の無線局」については、1.9GHz 帯を使用し、免許を要しない無線局として平成 5 年に PHS 方式を導入し、平成 22 年には高品質な音声通信及び高速データ通信などの高機能化を図るため、新たに広帯域システムである DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunication) 方式及び sPHS 方式を導入してきたところである。

近年の IoT 社会における多様な利用ニーズに対応するため、従来 방식に加え、データ通信を中心としたシステムへの高度化が求められており、携帯電話等の国際標準規格である LTE 方式を利用した無線システムの導入に向けて、既存システムとの周波数共用を図りつつ、必要な技術的条件について検討を行う。

2 検討事項

平成 14 年 9 月 30 日付け諮問第 2009 号「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件」

3 検討体制

陸上無線通信に必要な技術的条件等を担当する既設の「陸上無線通信委員会」(主査：安藤 真 東京工業大学理事・副学長(研究担当))において検討を行う。

4 答申を予定する時期

平成 29 年 3 月頃